

# 令和3年度事業報告

## I. 事業の状況

### 1. 奨学事業

#### (1) 奨学生の選考、決定

##### ① 令和3年度新規採択奨学生及び継続奨学生

16大学から応募のあった新規奨学生候補者30名について、令和3年4月22日開催の選考委員会において書類審査を行い、一般奨学生計17名を選考した。また、修士課程進学による再申請者15名（うち酒井MSに4名振替）を選考するとともに、学業状況報告書、成績証明書等の審査により、83名の継続を認めた。

##### ② 令和3年度後期採択奨学生

令和3年9月末で奨学金を終了した者6名の補充につき、令和3年10月11日開催の選考委員会において応募者の書類審査を行い、修士課程進学による再申請者3名を選考した。

また、令和3年11月18日の選考委員会において書類審査を行い、1名の一般奨学生を選考するとともに、中国の東北育才学校、東北育才外国語学校から推薦のあった渡日時奨学生7名を選考した。

③ 理事長は、選考委員会により選考され、又は継続が認められた上記①～②の候補者を理事会の決議に基づき、令和3年度の新規採用の奨学生又は継続奨学生に決定し、本人及び各推薦大学に通知した。

#### (2) 令和3年度奨学生

令和3年度の奨学生の内訳は、下表のとおり。

種別	3年4月採択者	継続者	3年後期採択者	合計	年度途中終了者
一般奨学生	28	77	4	109	5
酒井メモリアル・スカラシップ奨学生	4	6	0	10	1
渡日時奨学生	0	0	7	7	0
計	32	83	11	126	6

(注1) 一般奨学生の継続者には、渡日時奨学生からの振替者を含む。

(注2) 酒井メモリアル・スカラシップ奨学生には、一般奨学生からの振替者を含む。

(注3) 年度途中で6名が終了したため、年度末の奨学生数は120名であった。

#### (3) 奨学金の支給

##### ① 奨学金贈呈式

令和3年5月30日に予定した新規採択の奨学生への奨学金贈呈式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止し、12月11日午前の部において実

施した。

## ② 奨学金の支給

下表の支給額及び支給期間に基づき、奨学生に対し、毎月銀行振込みにより支給した。

種別	支給額	支給期間
一般奨学金	学部生 18万円／月額 大学院生 20万円／月額	原則として1年間。 ただし、特に成績優秀な者及び本財団の交流事業を理解する者については、所属する学部又は研究科の標準年限まで継続可
酒井メモリアル・スカラシップ (SAKAI MS)	大学院生 20万円／月額	
渡日時奨学金	渡日一時金として 最高 100万円 滞在費として 15万円／月額	受入校入学時から卒業までの間

## (4) 学業に関する報告及び生活状況報告

令和4年1月12日、奨学生に学業状況報告及び生活状況報告の提出を求めた。

## (5) 令和4年度奨学事業関係

令和4年3月10日付けで、令和4年度奨学生の候補者の推薦を17大学長あてに依頼した。(締切日：令和4年3月31日)

## 2. 研究助成事業

アジア諸国からの留学終了後、我が国の大学・研究機関等の研究職に留まり研究を継続している者に対する研究助成事業（「アジア留学終了者研究助成事業」と略称）の第8回目として、理事長は、令和3年11月18日開催の選考委員会による選考結果及び理事会の決議に基づき、35件の応募の中から20件の研究主題に対し研究助成金を支給することを決定し、各応募者に通知した。採択者一覧は別紙のとおり。

また、令和3年12月11日午後の部において、研究助成金受給者への研究助成金贈呈式を行った。

## 3. 交流活動事業等

### (1) 奨学生／研究助成金受給者交流会

5月30日に開催予定していた奨学金贈呈式と交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。また、9月に予定されていた第2回交流会（研修旅行）も中止とした。

令和3年度に採用された奨学生を対象とする奨学金贈呈式と交流会は、令和3

年12月11日に午前と午後の二部制にて、財団役員、評議員、選考委員、評議員選定委員の出席を得てザ・キャピトルホテル東急で実施した。

令和4年3月5日に予定していた奨学金終了式と奨学生交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。同月27日にオンラインによる終了式を開催し、終了者23名と、理事長、常務理事、常任理事が参加した。

## (2) 芸術文化交流事業

昨年度より、芸術文化を通じた国際親善・交流を図るため、歌舞伎、文楽、オペラ、バレエなど我が国の伝統芸能、現代舞台芸術に親しみを持つ機会を提供することとした。コロナ禍で公演や展覧会の中止が相次ぐ中、東京フィルハーモニー交響楽団の定期会員席を確保し、奨学生に鑑賞機会を提供した。また、令和4年3月16日に、新国立劇場におけるオペラ「椿姫」の鑑賞機会を提供した。

## (3) 「交流のひろば」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「交流のひろば」第27号を令和4年3月28日に刊行した。

## 4. 顕彰事業

### (1) 第2回ヒロセ賞受賞者の決定

第2回ヒロセ賞候補者の推薦を対象機関に依頼し、令和3年10月1日～11月30日の応募期間中に11件の推薦があった。令和4年2月9日のヒロセ賞選考委員会において、東京都市大学特任教授藤田博之氏が選考され、理事会の決議を経て受賞者を決定した。

### (2) 第2回ヒロセ賞贈呈式

新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、令和4年7月に延期された。

## 5. ヒロセ財団交流会館（仮称）の設置準備状況

2030年迄を目途に、少しずつ具体化を図るため、準備委員の建築家のアドバイスを得て、一級建築士による基本計画図を作成した。又候補地については、大手不動産会社等の協力を得て、目下、六本木、麻布、三田エリアを中心に選定中であるが、候補物件が少ないことから対象を世田谷、渋谷エリアに拡大を検討している。

## Ⅱ. 処務の概要

### 1. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年4月30日 (決議の省略)	1. 令和3年度ヒロセ財団奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年6月14日 (第1回通常理事会) (決議の省略)	1. 令和2年度事業報告及び決算について	全会一致で承認・可決
令和3年6月30日 (決議の省略)	1. 理事長、常務理事、常任理事の選定について	全会一致で承認・可決
令和3年10月25日 (決議の省略)	1. 選考委員の追加選任について 2. 令和3年度(後期)ヒロセ財団奨学生の決定について	全会一致で承認・可決
令和3年11月26日 (決議の省略)	1. 令和3年度(後期)ヒロセ財団奨学生の決定について 2. 令和3年度研究助成の決定について	全会一致で承認・可決
令和4年2月16日 (決議の省略)	1. 第2回ヒロセ賞受賞者の決定について	全会一致で承認・可決
令和4年3月14日 (第2回通常理事会) (決議の省略)	1. 令和4年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 2. 株主権の議決権行使について 3. 「奨学金支給規程」の改訂について 4. 令和4年度定時評議員会の開催日時、場所及び議題について 5. 職務執行状況の報告について	全会一致で承認・可決

## (2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年6月30日 (定時評議員会) (決議の省略)	1. 令和2年度事業報告 2. 令和2年度決算の承認について 3. 理事の改選について	全会一致で承認・可決
令和4年3月14日 (臨時評議員会) (決議の省略)	1. 令和4年度事業計画書及び収支予算書 並びに資金調達及び設備投資の見込み について	全会一致で承認・可決

## (3) 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年4月22日	1. 令和3年度奨学生の選考	一般奨学生17名、 再申請者15名を選考
令和3年10月11日	1. 令和3年度(後期)奨学生の選考(再 申請者のみ)	再申請者3名を選考
令和3年11月18日	1. 第8回(令和3年度)研究助成事業の 選考 2. 令和3年度(後期)新規採択の奨学生 の選考	20件を選考  一般奨学生1名、渡日 時奨学生7名を選考

## (4) ヒロセ賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年2月9日	1. 第2回ヒロセ賞選考委員会	全会一致で1名を選 考

なお、令和3年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。